

- 1 日 時 令和元年 10 月 8 日（火）
- 2 学 年 1 年 1 組 19 名（男子 9 名 女子 10 名） Jump コース
- 3 単元名 PROGRAM 7 The Wonderful Ocean（SUNSHINE ENGLISH COURSE 1）

4 単元について

単 元 観	<p>本単元は、新学習指導要領の（3）話すこと [やり取り]「ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」に基づき、設定したものである。教科書の本文では、海洋動物について研究を進めている笹森琴絵さんの取組や思いについて知ることができる内容となっている。また、言語材料では、疑問詞 who や when, 代名詞（目的格）が扱われており、具体的な情報を読んだり聞いたりして概要を捉えるのに適している。</p> <p>また、本校の CAN-DO リスト話すこと（やり取り）の到達目標は、「身近な人と家族、友人、学校などに関する話題について、基礎的な語句や表現を用いて、簡単なインタビューをすることができる。」としている。従って、本単元の内容を通して、自然について書かれた話題について英文を読み、書かれた内容を基に自分の考えや感想、理由などを伝え合う力を醸成する。</p>																					
生 徒 観	<p>本学級の生徒は習熟度別クラスの発展コースである。やり取りを通した言語活動を行う中で、学習した内容を使って英語でコミュニケーションを取る生徒が増えている。</p> <p>以下の表は、英語学習に関する意識調査による肯定的評価の割合を示したものである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 85%;">質 問 項 目</th> <th style="width: 10%;">%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>英語の勉強は好きです。</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>英語の授業はよく分かります。</td> <td>94.7</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。</td> <td>94.7</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。</td> <td>94.7</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>教科書の本文などを読み、読んだ内容について話したり自分の気持ちや考え・感想・理由を伝えたりしています。</td> <td>89.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の結果から各項目の肯定的評価は高いが、1学期に比べて学習内容の難易度が上がっているため、表現力にも差が出始めている。2学期は教科書の内容を参考にさせながら考えを述べ合うなど、読んだり聞いたりしたことについて自分の考えや感想、理由などを伝え合いながらやり取りをする力を身に付けさせる必要がある。</p>		質 問 項 目	%	1	英語の勉強は好きです。	89.4	2	英語の授業はよく分かります。	94.7	3	英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。	94.7	4	英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。	89.4	5	分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。	94.7	6	教科書の本文などを読み、読んだ内容について話したり自分の気持ちや考え・感想・理由を伝えたりしています。	89.4
	質 問 項 目	%																				
1	英語の勉強は好きです。	89.4																				
2	英語の授業はよく分かります。	94.7																				
3	英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。	94.7																				
4	英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。	89.4																				
5	分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。	94.7																				
6	教科書の本文などを読み、読んだ内容について話したり自分の気持ちや考え・感想・理由を伝えたりしています。	89.4																				
指 導 観	<p>本単元の目標を達成し、上記の課題を解決するために、次の3点を重点的に指導する。</p> <p>① 自分の考えや感想、理由などを伝え合うために必要な、<u>基礎的・基本的な知識の定着</u>を図る。</p> <p>② 教師の話や教科書の内容を読んだりしたことについて得た内容を基に自分の考えや感想、理由などを伝え合うことができる<u>表現力</u>を身に付けさせる。</p> <p>③ 自分の考えや感想、理由など、上手くいかない場面が生じた場合は、教師が改善策や解を与えるのではなく、「<u>庄原中授業プロセス</u>」を用いて、生徒自身がより適した表現方法を考えていけるような<u>主体的な学びの場面や機会</u>を設け「<u>深い学び</u>」に導く。</p>																					

5 本校で身に付けさせたい資質・能力

庄中 F I N D	表現力	行動力	協働する力	貢献（自己肯定感）
課題を理解し、ゴールに向けて探究しようとする。	自分の考えや感想、理由を適切に表現できる学びを目指す。	積極的に相手の考えなどを知らうとする態度を目指す。	他者と交流を通して、より良い考えなどを導き出す姿勢を目指す。	互いを肯定的に受け止め、より良い人間関係を形成する態度を目指す。

6 単元の目標

- 【コ】間違いを恐れず、自分の考えや感想、理由を伝えるためにやり取りを続けようとしている。
- 【表】読んだり聞いたりした内容を基に、自分の考えや感想、理由を伝え合うことができる。
- 【理】書かれた英文や聞いた内容の概要を捉えることができる。
- 【知】疑問詞 who や when, 代名詞（目的格）の文構造や用法を理解する。

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず、自分の考えや感想、理由を伝えるためにやり取りを続けようとしている。	読んだり、教師の話を読んだりした内容を基に、自分の考えや感想、理由を伝え合うことができる。	書かれてある英文を読み、概要を理解することができる。	疑問詞 who や when, 代名詞（目的格）の文構造や用法を理解している。

8 単元のゴール（パフォーマンステスト）

【課題】 コミュニケーションの目的・場面・状況	あなたは広島東洋カープの菊池選手についての英文を読み、書かれている内容についてグレンディ先生と話すことになりました。読んだ内容を基に、自分の考えや感想、理由を伝え合ひましよう。		
評価の観点	外国語表現の能力【話すこと（やり取り）】		
A	○自分の考えや感想、理由を伝え合うために適切な表現を用いて、読んだ内容や自分の知っている内容を基に、自分の考えや感想・理由を伝える。 G : Who is he? S : He is Mr.Kikuchi. G : I see. What do you think about him? S : I think he is a good baseball player. G : Why do you think so? S : Because his play is very cool. He practices baseball every day. He wants to be a Major Leaguer. I want to be a Major Leaguer too. I want to be like him. G : I see.		
B	○自分の考えや感想、理由を伝え合うための表現を用いて、読んだ内容を基に、自分の考えや感想・理由を伝える。 G : Who is he? S : He is Mr. Kikuchi. G : I see. What do you think about him? S : I think he is great. G : Why do you think so? S : Because he can play baseball very well. I'm a second too. I like him very much. G : I see.		
C	読んだ内容を基に、自分の気持ちや考え・感想・理由を伝えておらず、伝え合うために必要な表現を用いていない。		

9 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

- ①自分の考えや感想・理由を伝えるために必要な表現を用いて、自分の考えや感想・理由を伝え合う。
- ②関連する言語材料

We Can! 2	We Can! 1,2 → 中学校	中学校
≪Unit3 He is famous. She is great.≫ Who is this? He is famous. She is great. ≪Unit5 My Summer Vacation≫ It was fun / exciting / beautiful / delicious.	Who is this? →Who を使った質問に、説明を加えて答える。 It was fun / exciting / beautiful / delicious.などの感想に加え、考え、理由を伝える。	Who is she? She is Ms. Sasamori. I think he is great. Because he helps many sea animals. など

10 単元計画 (全7時間)

次	時	目標・課題 (◆)・主なやり取り等 (*)・予想される振り返り (○)	評価規準・評価方法
一	1	<p>◆過去の本文を読み, 自分の考えを伝え合うために必要な表現などを知る。</p> <p>*以前学習した本文を基に自分の考えを伝え合う教師とALTのやり取りを聞いて, 言語活動の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Hello. I have some questions. Do you know Sherlock Holmes? A : Yes, I do. He is a detective. T : Yes! <u>I think he is a very smart detective. I like him very much.</u> <u>What do you think about him?</u> A : <u>I think he is a cool detective. He lives on Baker Street. And Dr. Watson helps him.</u> T : Oh, you know about him a lot .</p> </div> <p>*以前学習した本文を読んで, 実際にやり取りをさせる。</p> <p>○自分の考えを伝えるためには, I think という表現を使い, 相手に考えを聞くときには, What do you think?を使うことが分かった。自分の考えを言うときには, 教科書の本文で共感できる場所を使って伝えた。</p>	<p>行動観察 (ア) 後日ペーパーテスト (エ)</p>
二	2	<p>◆疑問詞 Who の用法を理解し, 笹森さんについて簡単な情報を得ることができる。</p> <p>*教科書本文を読んで Who の用法を理解させる。</p> <p>*インタラククションを通して内容について情報を確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : (笹森さんの文章を読んだ後に写真を見せながら) Who is she? S 1 : She is Ms. Sasamori. T : Yes, She is Ms. Sasamori. Where does she live? S 2 : She lives in Muroran. T : Yes, Muroran is in Hokkaido. By the way, how old is she? S 3 : She is 56 years old. T : What does her group study? S 4 : Her group studies orcas, dolphins and whales. T : Yes. She knows about sea animals a lot.</p> </div> <p>*確認した内容をもとに, 笹森さんについてやり取りをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : Hello. Who is she? S 2 : She is Ms. Sasamori. How old is she? S 1 : She is 56 years old. Where does she live? S 2 : She lives in Muroran. Muroran is in Hokkaido. S 1 : What does her group study? S 2 : Her group studies orcas, dolphins, and whales.</p> </div> <p>○人をたずねるときは Who を使うことが分かった。笹森さんは北海道の室蘭に住んでいて, シャチなどの研究をしている人だということが分かった。</p>	<p>行動観察 (ア) ワークシート (ウ)</p>
三	本時	<p>◆笹森さんの活動について読んだ感想や, 印象に残ったことを伝え合う。</p> <p>*笹森さんについて前時で学習したことをQ&Aなどで振り返らせる。</p> <p>*英文を読み, 感想や印象に残ったことを伝え合わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : <u>What do you think about</u> Ms. Sasamori? S 2 : <u>I think she is great.</u> S 1 : <u>Why?</u> S 2 : <u>Because</u> she knows about sea animals a lot. How about you? S 1 : <u>I think she is wonderful.</u> S 2 : <u>Why?</u> S 1 : Because she helps orcas, dolphins, and whales.</p> </div>	<p>行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)</p>

	<p>○感想や理由を伝えるときに、I think～. Because～.を使うことができた。 自分は海洋生物について詳しく知らないなので、そこがすごいと思いい印象に残ったこととして伝えることができた。</p>	
三	<p>4</p> <p>◆代名詞（目的格）の用法を理解し、シャチの生態について読み取る。</p> <p>*教科書の本文から、代名詞（目的格）の用法を理解させる。 *インタラククションを通して、本文内容を理解させる。</p> <p>T : What is the orca's name? S 1 : He is Nick. T : Yes. It's a very big orca. Please tell me about him. S 2 : He is the head of his family. T : Anything else? S 3 : He has a beautiful big fin. T : I see. It's very big. Anything else? S 4 : He has his family. T : That's nice. Does he have a baby? S 5 : Yes.</p> <p>*読み取った内容についてやり取りをさせる。</p> <p>S 1 : Please tell me about orcas. S 2 : OK. Orcas have families. This is Nick. S 1 : He is the head of his family. I think it's interesting. S 2 : Why? S 1 : Because Orcas have their leader. S 2 : I see.</p> <p>○him や her には「彼を」や「彼女を」の意味があることが分かった。シャチには大きな背びれがあったり、家族で過ごしたりしていた。ニックがずっと赤ちゃんを見ているのはすごいと思った。</p>	<p>行動観察 (ア) ワークシート (ウ)</p>
	<p>5</p> <p>◆疑問詞 When の用法を理解し、イルカの生態について読み取る。</p> <p>*教科書の本文から、When の用法を理解させる。 *インタラククションを通して、本文内容を理解させる。</p> <p>T : What are they? S 1 : Dolphins. T : Can they jump high? S 2 : Yes. T : Yes. It's really amazing. When do they come to Muroran? S 3 : In Summer. T : That's right. Anything else? S 4 : They eat fish and raise their babies there. T : I see.</p> <p>*読み取った内容についてやり取りをさせる。</p> <p>S 1 : Please tell me about dolphins. S 2 : Dolphins can jump high. It's amazing. S 1 : I think so too. They come to Muroran in summer. S 2 : Why? S 1 : Because they eat fish and raise their babies there. S 2 : I see.</p> <p>○イルカがとても高く跳べることが分かった。教科書の本文から多分イルカも家族で過ごしているのだろうと思った。夏にしか室蘭にいないのには驚いた。</p>	<p>行動観察 (ア) ワークシート (ウ)</p>

6	<p>◆笹森さんの活動について、今までに読んだ内容を参考にして、自分の考えや感想、理由を伝え合う。</p> <p>*これまで読んだ内容についてQ&Aなどで振り返らせる。</p> <p>*笹森さんの活動について自分の考えや感想、理由を伝え合わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : What do you think about Ms. Sasamori? S 2 : I think she likes sea animals very much. S 1 : Why do you think so? S 2 : Because she knows about orcas and dolphins a lot. It's great. How about you? S 1 : I think she loves wonderful ocean. She likes nature. S 2 : I see.</p> </div> <p>○笹森さんについて海洋生物やワンダフルオーシャンが好きというところを自分の考えとして伝えることができた。理由を聞かれたときに、笹森さんがシャチやイルカについて詳しく知っているということを伝えることができた。</p>	<p>行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)</p>
四 7	<p>◆笹森さんの物語を基に、自分たちにはどのようなことができるのか、考えを伝え合う。</p> <p>*笹森さんの物語を基に、自分の考えや感想、理由を伝え合わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : What do you think about Ms. Sasamori? S 2 : I think she likes nature. S 1 : Why do you think so? S 2 : Because she loves this wonderful ocean. It's good. What do you think about her? S 1 : I think she helps sea animals. It's wonderful. S 2 : I see.</p> </div> <p>*自分たちにできることは何かを考え、伝え合わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : What can we do for nature? S 2 : I think I can clean our city. I want to join the volunteer. S 1 : I see. I want to stop 地球温暖化. S 2 : I see. What do you do? S 1 : I stop air conditioner.</p> </div> <p>○笹森さんのように直接行動はできないかもしれないけれど、自然を守るためには、ボランティアに参加したり無駄なエアコンは使ったりしないなど、自分たちにもできることがあるなど思った。庄原は自然がたくさんあるので、大切にしたいと思った。</p>	<p>行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)</p>
後日	<p>・英文を読み、読んだ内容について自分の考えや感想、理由を伝えるためにALTとやり取りをさせる。 パフォーマンステスト実施</p>	<p>スピーキングテスト (イ) ペーパーテスト (エ)</p>

11 本時の学習

(1) 本時の目標

- 笹森さんの活動について書かれた英文を読み、感想や印象に残ったことを伝え合う。

(2) 本時の評価規準

- 間違いを恐れず、感想や理由などを伝えるためにやり取りを続けようとしている。(ア)
- 読んだり、教師の話の聞いたりした内容を基に、感想や理由などを伝え合うことができる。(イ)

(3) 準備物

笹森さんについての英文, ワークシート, 電子黒板, iPad

(4) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10分	1 << Small Talk >> (ペア) ・ Small Talk をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">Small Talk (小学校との関連)</div>	・ 教師の話聞いて、その内容についてやり取りをさせる。 ・ 感想や理由などを付け加えてやり取りをさせる。 ● 困っている生徒がいる場合は、机間指導を行い、ヒントを与える。	
	<p>【期待されるやり取り例】</p> <p>T : Hello, everyone. S : Hello, Ms. Shigemoto. T : I'm very hungry. Lunch time is coming soon. What is today's menu? S : I don't know. T : Today is ○○. But I like ramen. I think it's very delicious. And I like ramen. So I want to eat ramen. How about you? What lunch menu do you want to eat? Let's talk with your partner.</p> <p>S1 : What lunch menu do you want to eat? S2 : I want to eat karaage. S1 : Oh, karaage. I like karaage too. Why? S2 : Because I like chicken. It's delicious. S1 : I see. S2 : How about you? S1 : I want to eat pumpkin pudding. S2 : Me too! Why? S1 : Because I like sweets. It's very delicious. I can eat a lot of pumpkin pudding. S2 : I see.</p>		
30分	2 << めあての確認 >>		
	英文を読んで、笹森さんの活動について感想や、印象に残ったことを伝え合うことができる。		
	3 << Review >> ・ 前時で学習したことをQ&Aなどで振り返る。 4 << Activity >> ・ 笹森さんについての英文(別紙)を読む。 ・ 英文の内容について確認をする。	・ 笹森さんについて前時で学習したことを確認させる。 ・ あまり難しい表現は使わずに、内容が理解できる英文を準備する。 ・ ただ英文を読ませるだけではなく、読んだ内容についてどのような感想や印象に残ることがあるか考えさせながら読ませる。 ・ 教師とのインタラクションを通して、読んだ内容について確認させる。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ内容について感想や印象に残ったことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初から助言はせず、まずは生徒に挑戦させる。 ・困ったことや疑問などがあれば、全体で交流し、生徒自身に考えさせる場を与える。 ・生徒に考えさせても言いたいことが上手く言えない場合は、教師がアドバイスをを行い、思考を深めさせる。 ・思考したことを再挑戦させ、表現の幅を広げさせる。 ・教師が肯定的な評価を行い、英語を話したい意欲を維持させる。 	<p>行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)</p>
10分	<p>4 《まとめと振り返り》(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを全体で交流する。 ・次時の学習内容を知る。 ・めあてと次時への学習の見通しをもった振り返りをする。 	<p>【期待されるやり取り例】</p> <p>S 1 : What do you think about Ms. Sasamori? S 2 : I think she is great. S 1 : I think so too. Why? S 2 : Because she knows about sea animals a lot. How about you? S 1 : I think she is wonderful. S 2 : Why? S 1 : Because she helps orcas, dolphins, and whales.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名して、読んだ内容について感想や印象に残ったことを全体で交流させる。 ・本時のやり取りが次時にどのようにつながるのか、見通しをもたせる。 <p>【期待される生徒の振り返り】</p> <p>感想や理由を伝えるときに、I think～. Because～.を使うことができた。自分は海洋生物について詳しく知らないので、そこがすごいと思い印象に残ったこととして伝えることができた。</p>	<p>庄原中授業プロセス</p>

(別紙)

【Sasamori Kotoe】

This is Sasamori Kotoe. She lives in Hokkaido.
She is a member of sea animals group.



She studies orcas, dolphins, and whales now.
She knows a lot about sea animals. She likes sea animals very much. She helps sea animals too. She wants to save sea animals and nature. She is a great woman.

What do you think about Ms.Sasamori ?